

野犬の子犬を教育中

兄弟犬の「アケボノ」と「モリオ」



【浜中】なかなか人に懐かない子犬の野犬などを上手にお世話を
する兄弟犬が浜中町にいる。2歳となる「アケボノ」と「モリオ」
は、ともに雄ながら母親役と父親役を分担し、おびえる子犬の「教
育係」を担当。時に優しく、またしつかりとしつけをしなが、す
でに20匹を超える子犬を道内各地の新しい飼い主のところに送り出
しているという。

(伊東義晃)

2匹の兄弟犬が暮らすのは
NPO法人ドッグレスキュー
しおんの会(福澤智子代表)
の預かりボランティアをして
いる同町茶内の本田武典さん
(70)宅の牛舎内。2010年
まで酪農を営んでいた本田さ
ん宅には、この2匹を含めて
7匹の犬たちが生活してお
り、「毎日の散歩が大変だが
ね」と笑顔で語るように、犬

福澤さんの右側が母親役のアケ
ボノ、左側が父親役のモリオ。
2匹の子犬と共に

優しくそして厳しく

たちと共に暮らしている。
2匹の兄弟犬ももともとは
野犬。この2匹が子犬のしつ
け係を務めるようになったこ
とを本田さんは「とても珍し
いことだ」と優しく目を細め
た。

捨て犬や迷い犬、野犬の子
犬が野生化しないように保護
をし、新たな飼い主を探す活
動を続けているしおんの会代
表の福澤さんは「保護した子
犬は人慣れしていなくて、人
を威嚇するような動きをす
る。私の家で世話をすると、
2週間ほどでやっとな慣れす
るようになるが、とても大変。
けれどもアケボノとモリオに
預けると1週間もすればもう
大丈夫」とすっきり信頼を置
いている。
見ていると餌を食べる時、

浜中・本田さんの牧場

おやつをもらうときに細かく
チェックするのは母親役のア
ケボノ。普段は見守っている
が、「ここぞ」というときに叱る
ような態度を取るのが父親役
のモリオの役目だという。

福澤さんは「本来は保護し
なければならぬ子犬が出な
いようになるのが一番です。
なかなかそうはならないの
で、もう少し2匹の力を借り
なければなりません」と語る。
しおんの会を巣立つ子犬の人
気は高く、インターネットを
通じて子犬の情報を見つけて
札幌、帯広、中頓別など道内
各地に譲渡されている。20
06年8月にしおんの会が設
立されて以来、現在までに2
15匹が譲渡されている。

現在、アケボノとモリオの
2匹の教育係が世話をしてい
るのは、福澤さんの誕生日(11
月17日)に保護されたことに
ちなんで名前は「ベース」と
「デー」の2匹で「とても人
懐こい子犬です。4カ月にな
りました。現在飼い主募集
中です」と呼び掛けている。
しおんの会の連絡先は09
0(95516)4746まで。